

宇佐市 地区地域計画

策定年月日	令和7年3月6日
更新年月日	令和7年11月26日 (第 5 回)
目標年度	令和16年
市町村名 (市町村コード)	宇佐市 (4 4 2 1 1 9)
地域名 (地域内農業集落名)	宇佐市 宇佐市

注： 「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を基準とし記載。

1 地域における農業の将来のあり方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	5,759.6	ha
	② 田の面積	5,227.3	ha
	③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	532.3	ha
	④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	309.4	ha
	⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	1,469.3	ha
	（参考）区域内における80歳以上の農業者の農地面積の合計	－	ha
	うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	－	ha
備考（遊休農地）	1 号遊休農地	－	ha
	2 号遊休農地	－	ha

注： 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載。ただし、区域内の農用地等面積の積算においては、地域計画としての一筆台帳の整理は求められていないことを前提とする。

(2) 地域農業の現状と課題

<input type="radio"/> 地域内の農業用水の不足	<input type="radio"/> 農道管理が困難
<input type="radio"/> 用排水路の老朽化	<input type="radio"/> 分水管理あり
<input type="radio"/> 農地及び排水路の排水不良	<input type="radio"/> ほ場単位での水引役あり
<input type="radio"/> 後継者不足	<input type="radio"/> 耕作放棄地あり
<input type="radio"/> 地域内農業者なし	<input type="radio"/> 不在地主増加
<input type="radio"/> 耕作条件の悪い農地	<input type="radio"/> 鳥獣被害あり
<input type="radio"/> 用排水路管理が困難	<input type="radio"/> コミュニティー機能の低下
<input type="radio"/> 農道が狭い	
<input type="radio"/> その他特記事項及びまとめ	
協議を行った一定地域の範囲内において、それぞれの課題を別紙にて整理する。	

(3) 地域における農業の将来のあり方

担い手関連の取組	作物関連の取組
<input type="radio"/> 地域内の農業者を中心に営農	<input type="radio"/> 主食用水稻の生産振興
<input type="radio"/> 近隣集落の農業者も含め営農	<input type="radio"/> 大豆の生産振興
<input type="radio"/> 広く宇佐市内の農業者を募り営農	<input type="radio"/> 麦の生産振興
<input type="radio"/> 新規就農・企業参入も含め営農	<input type="radio"/> 飼料稲の生産振興
<input type="radio"/> 担い手育成の必要性	<input type="radio"/> 飼料米の生産振興
基盤整備関連の取組	<input type="radio"/> 飼料作物の生産振興
<input type="radio"/> 国営かんがい排水事業の推進	<input type="radio"/> 高収益作物の生産振興
<input type="radio"/> ほ場整備の推進	その他の取組
<input type="radio"/> 用排水路改修の推進	<input type="radio"/> 鳥獣害対策の実施
<input type="radio"/> 大区画化の推進	<input type="radio"/> 水引役の継承
<input type="radio"/> パイプライン化の推進	<input type="radio"/> 水引役をつくる
<input type="radio"/> フォアス（地下灌漑）の導入	<input type="radio"/> 多面的機能支払の活用
<input type="radio"/> 排水機場の設置要望	<input type="radio"/> 中山間地域直接支払の活用
	<input type="radio"/> 放牧による農用地の管理
	<input type="radio"/> 耕作継続が困難な農用地の林地化

<input type="radio"/> その他特記事項及びまとめ
協議を行った一定地域の範囲内において、それぞれの課題に対する方針を別紙にて整理する。

2 農業の将来のあり方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

<input type="checkbox"/> 農地利用最適化推進員（農業委員会）へ当該地区の地域計画を踏まえたマッチング依頼
<input type="checkbox"/> 農地中間管理機構を利用した耕作権の設定
<input type="checkbox"/> 未相続農地における特定農作業受委託による農用地利用

(2) 担い手に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	71.3%	将来の目標とする集積率	80.0%
--------	-------	-------------	-------

- 注1： 集積率の算定に当たっては特定農作業受委託を含み算定する。
- 注2： 現在の集積率については令和5年度の統合調査による集積率（市全体）を記載。
- 注3： 目標とする集積率については「駅館川地域営農振興計画」の目標値（市全体）を記載。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積・集約化の取組

<input type="checkbox"/> 集落内の農業者を中心に集積・集約化を推進する
<input type="checkbox"/> 近隣集落の農業者も含め集積・集約化を推進する
<input type="checkbox"/> 宇佐市内の農業者を対象として集積・集約化を推進する
<input type="checkbox"/> 企業参入も含め集積・集約化を推進する
<input type="checkbox"/> 担い手育成を関係機関に求める

(2) 農地中間管理機構の活用方法

<input type="checkbox"/> 農地中間管理機構を活用し、積極的に集積・集約化を推進する

(3) 基盤整備事業への取組

<input type="checkbox"/> 国営かんがい排水事業「駅館川地区」を求める
<input type="checkbox"/> ほ場整備事業を求める
<input type="checkbox"/> 農業用水利施設の改修を求める
<input type="checkbox"/> ほ場の大区画化を求める
<input type="checkbox"/> 用水路のパイプライン化を求める
<input type="checkbox"/> フォアスの施行を求める
<input type="checkbox"/> 排水機場の設置を求める

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組

<input type="checkbox"/> 新規就農・企業参入も含め新たな担い手の確保を求める

(5) 農業協同組合等の農業サービス支援事業者等への農作業委託の取組

<input type="checkbox"/> 農業サービス支援事業者等への農作業委託を積極的に活用する

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> 鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> 燃料・資源作物
<input type="checkbox"/> 有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> 保全管理等
<input type="checkbox"/> スマート農業	<input type="checkbox"/> 農業用施設
<input type="checkbox"/> 畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> 耕畜連携等
<input type="checkbox"/> 果樹等	<input type="checkbox"/> その他

【選択した上記の取組内容】

<input type="checkbox"/> 補助事業等を活用し、鳥獣害対策のための鉄線柵等の整備を行い、適正な維持管理に努める。
<input type="checkbox"/> 有機・減農薬・減肥料の取組を進め、付加価値の高い農作物の生産を目指す。
<input type="checkbox"/> スマート農業技術の導入を図り、品質の向上・省力化・コスト削減を進める。
<input type="checkbox"/> ほ場整備に合わせて水田の汎用化を促進し、将来的には生産物の輸出等についても検討する。
<input type="checkbox"/> ほ場整備に合わせて樹園地化を推進する。
<input type="checkbox"/> 将来的には燃料・資源作物の生産を目指す。
<input type="checkbox"/> 一定地域内にある周辺部農地の保全管理を行う。
<input type="checkbox"/> 営農の拠点となる農業用施設の整備を行う。
<input type="checkbox"/> 畜産農家と連携をし、資源循環の取組を行う。
<input type="checkbox"/> 協議を行った一定地域の範囲内において、それぞれの方針を別紙にて整理する。